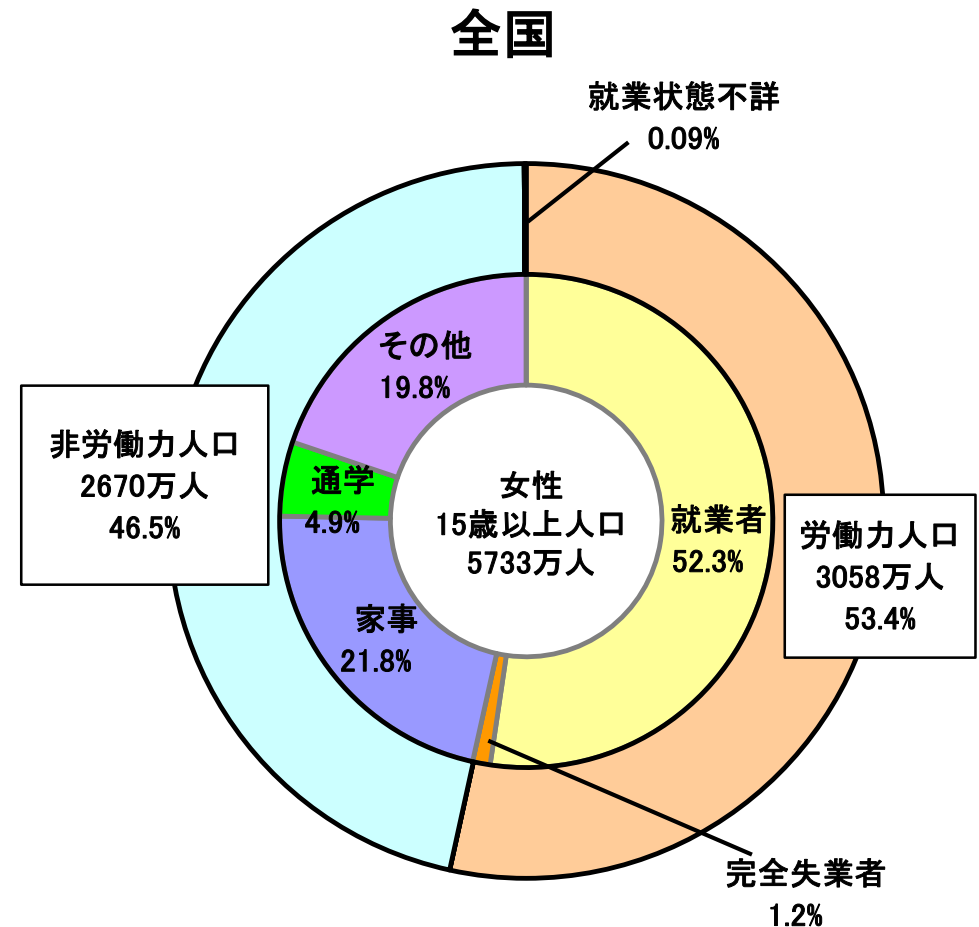
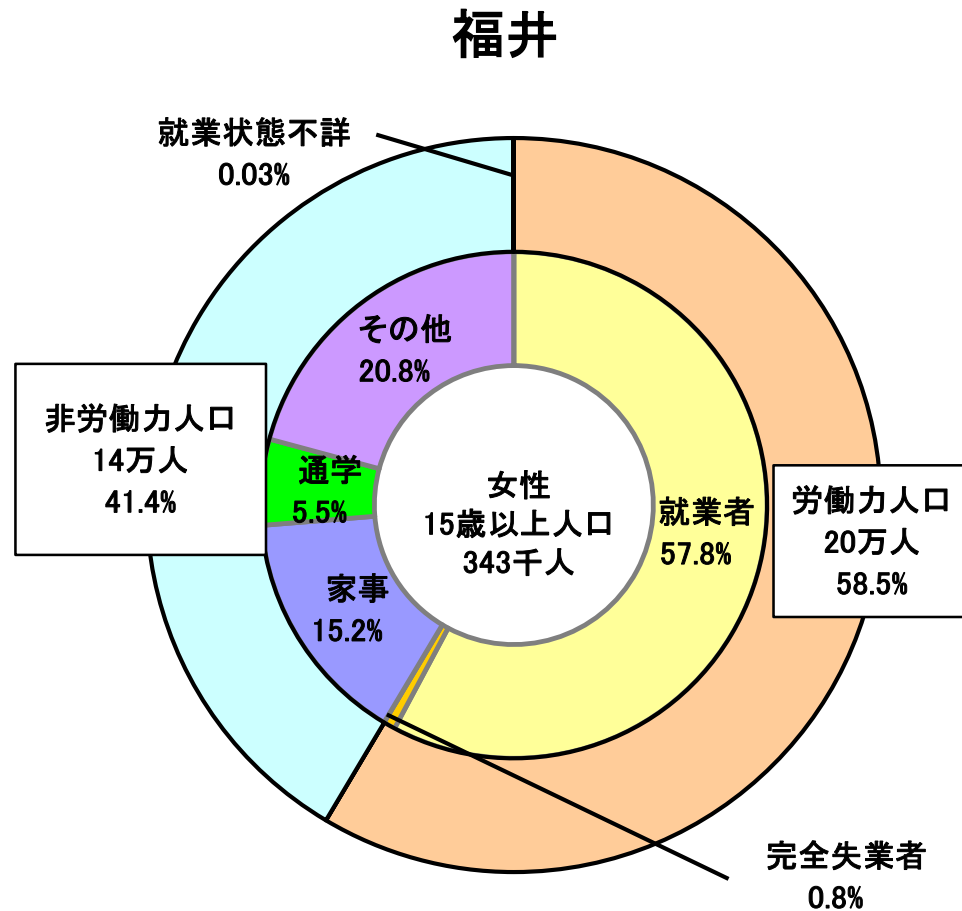


グラフで見る 福井県の女性労働

福井労働局雇用環境・均等室（令和3年3月作成）

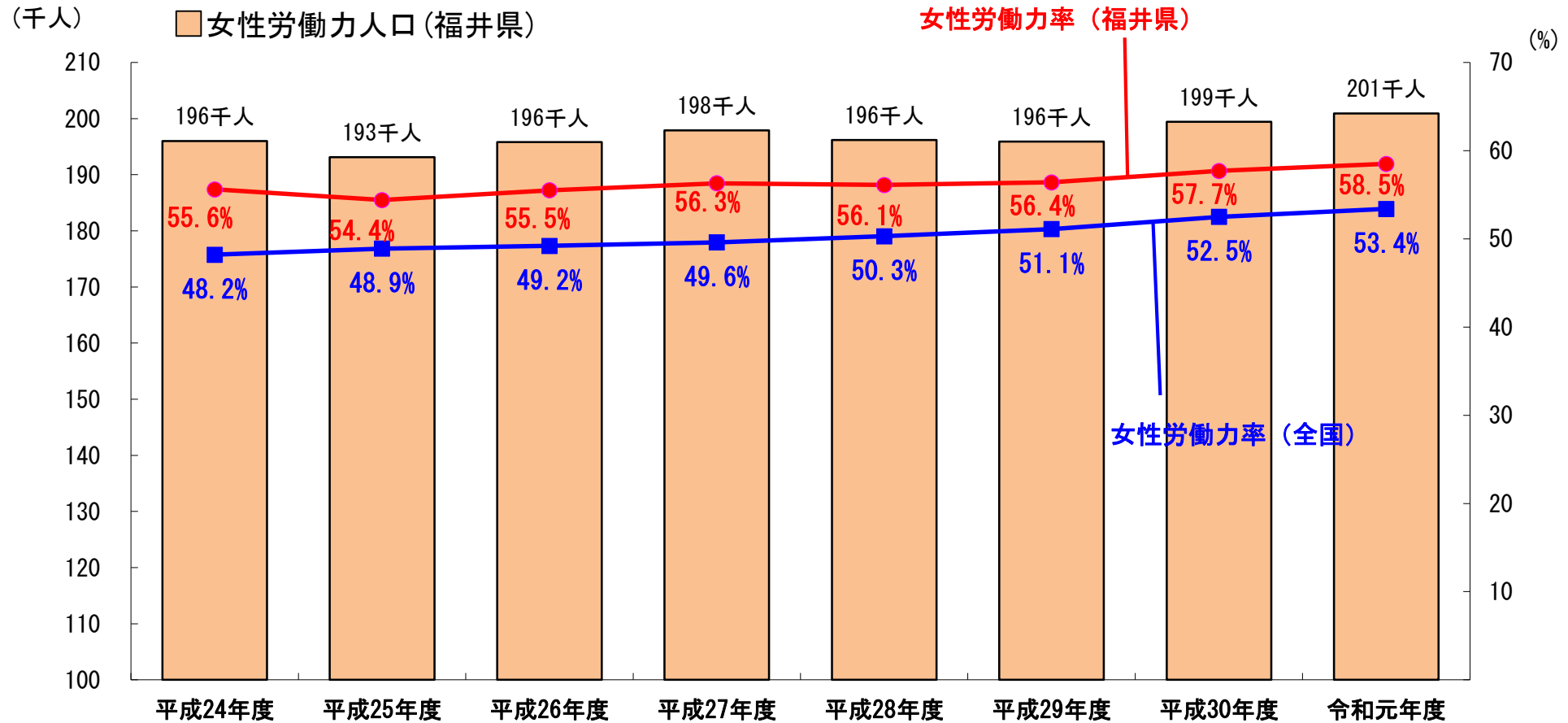
1 女性の労働力状態

福井県における女性労働力人口は200,000人(令和元年)となっており、女性の15歳以上人口の58.5%を占めています。女性の15歳以上人口における就業率は57.8%です。福井県の女性労働力率は、全国平均と比べて、5.1%上回っています。



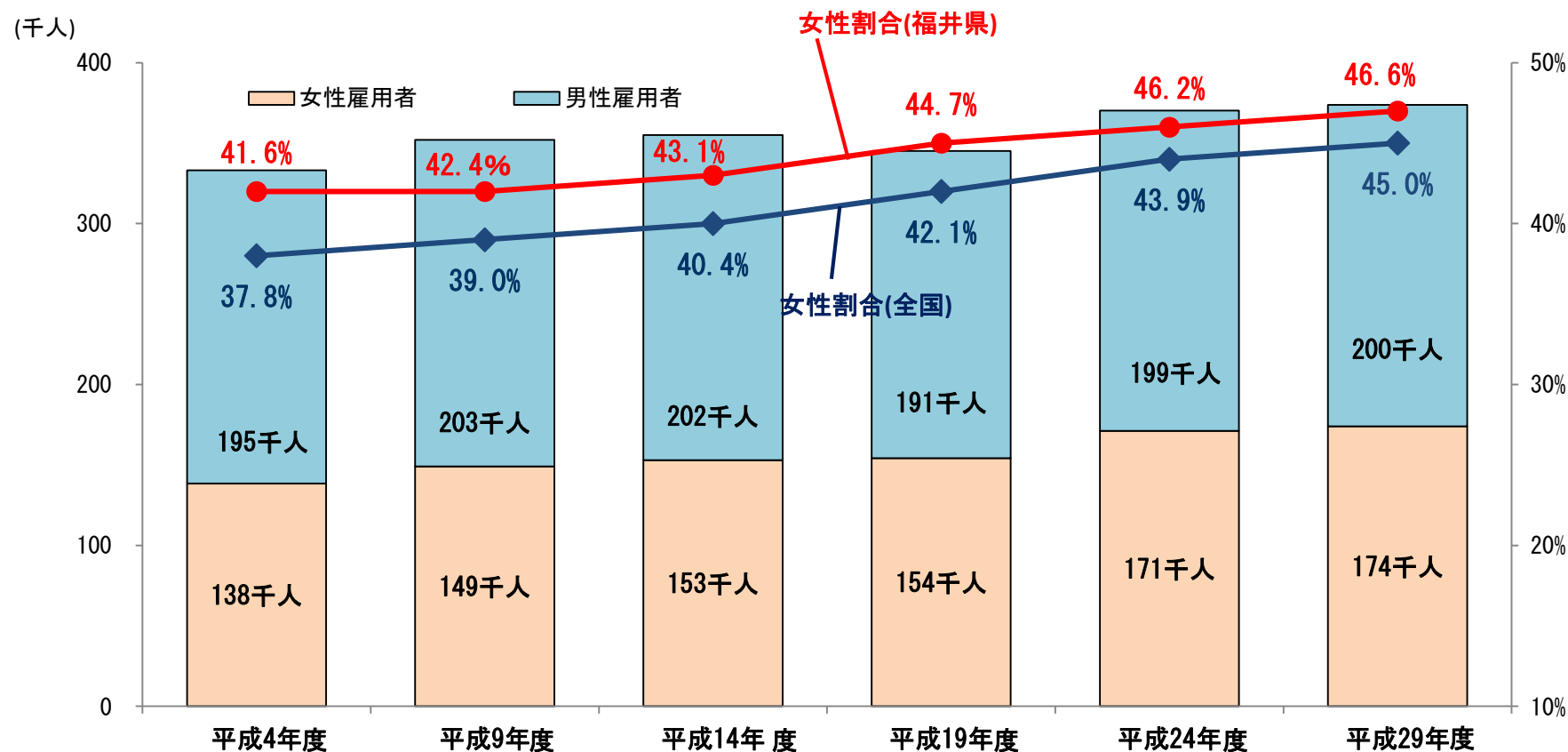
2 福井県の女性労働力人口と労働力率の推移

福井県の女性労働力率は、全国平均と比べて高い水準で推移しています。



3 雇用者数の推移と雇用者全体に占める女性の割合

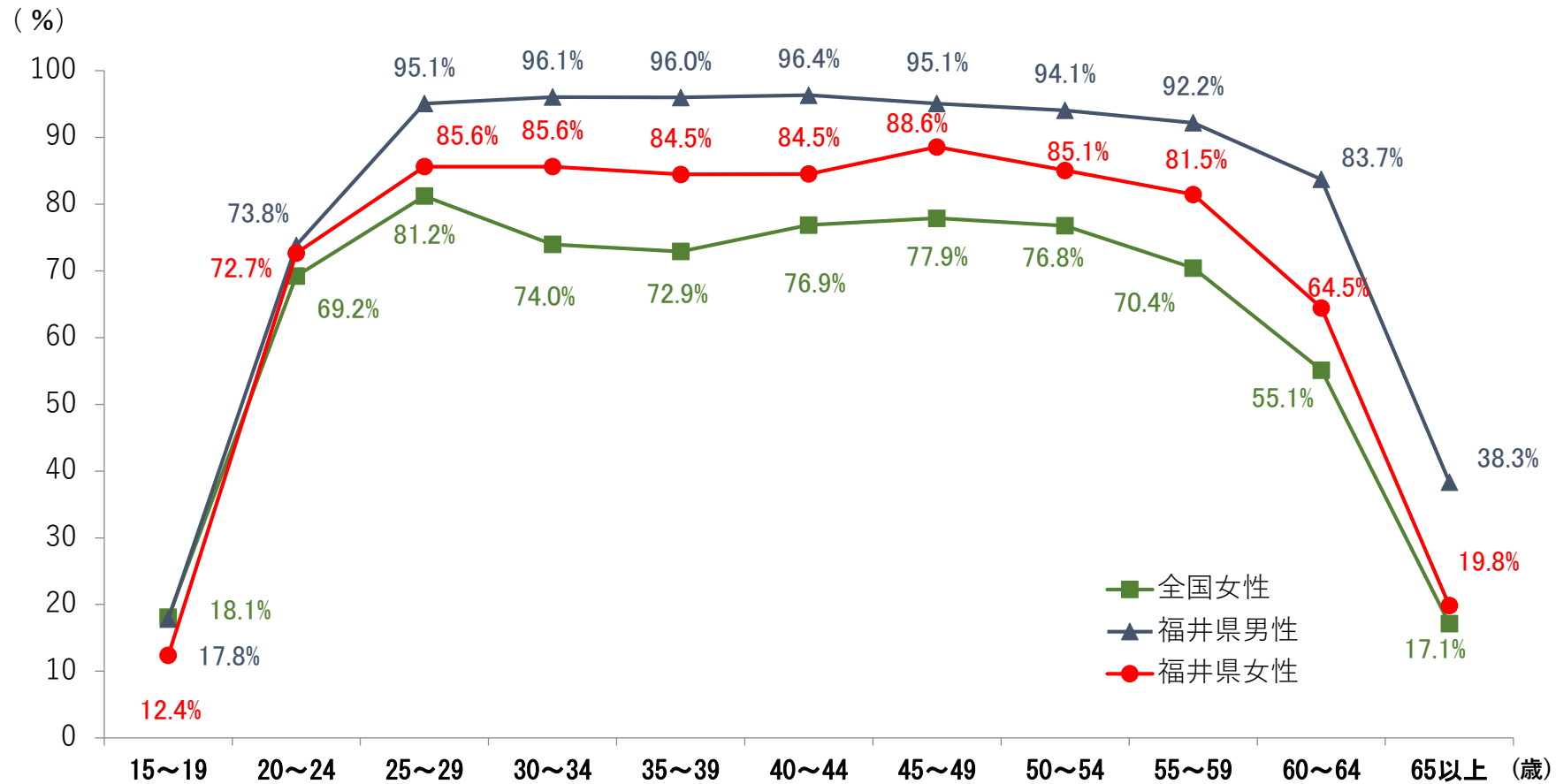
福井県の女性雇用者数は年々増加しており、平成29年には174,000人、全雇用者に占める女性の割合は46.6%と全国平均より高くなっています。



資料出所：総務省「就業構造基本調査」(平成29年)

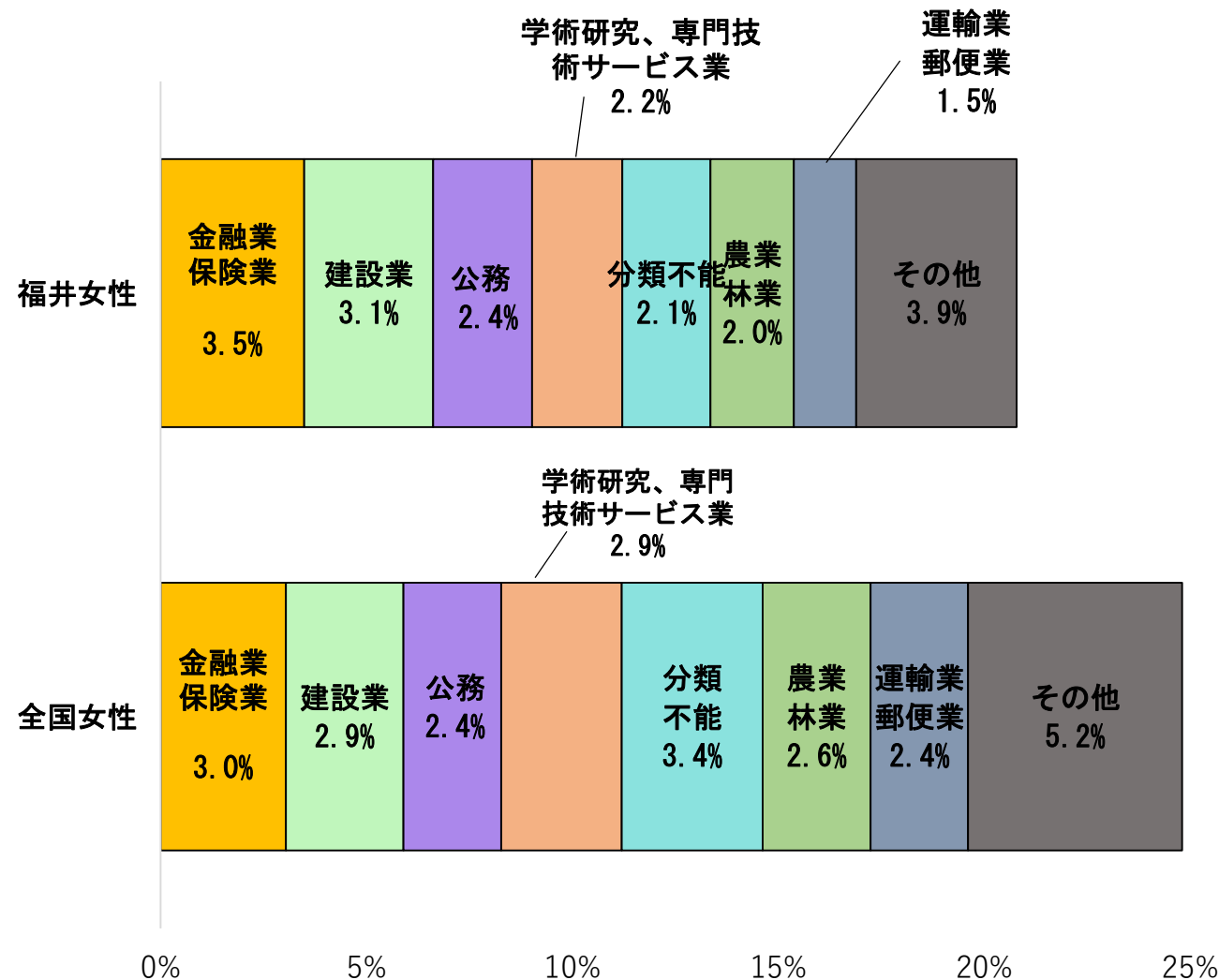
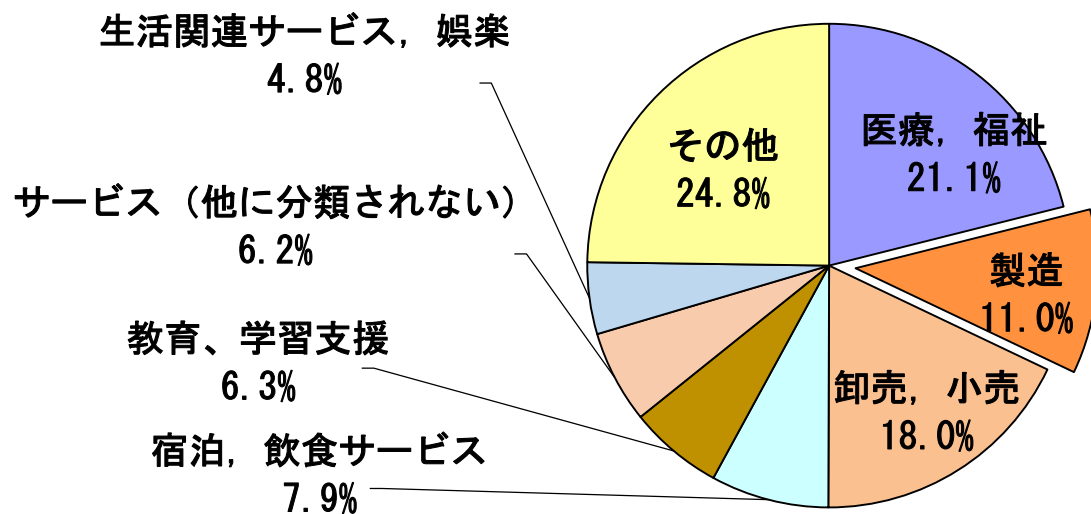
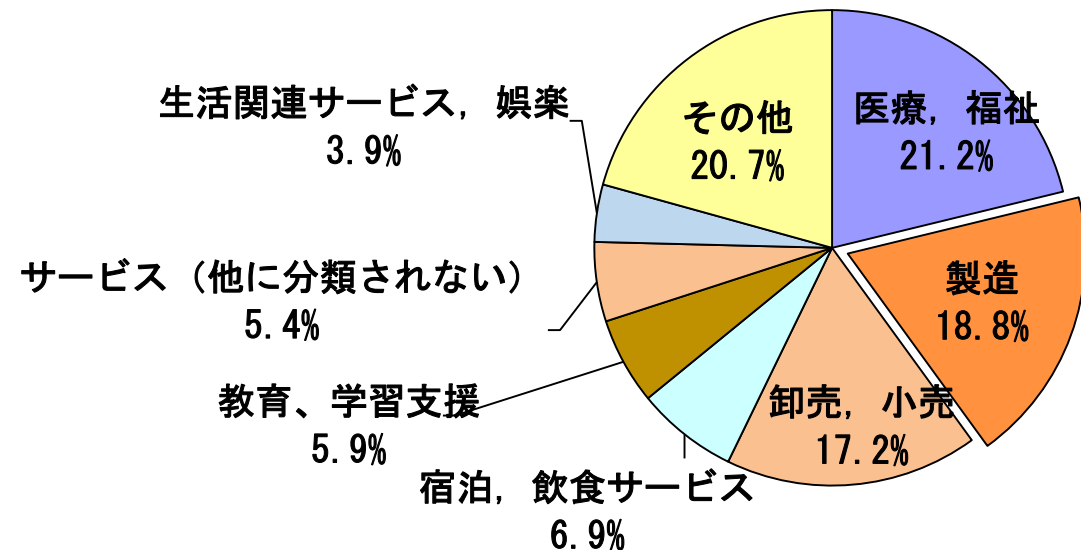
4 女性の年齢別人口に占める雇用者割合

30代前半から40代前半の年齢階層をボトムとする女性雇用者のM字型カーブは、福井県では20歳以上の各年齢階層において全国平均を上回っています。



5 女性雇用者の産業別構成比

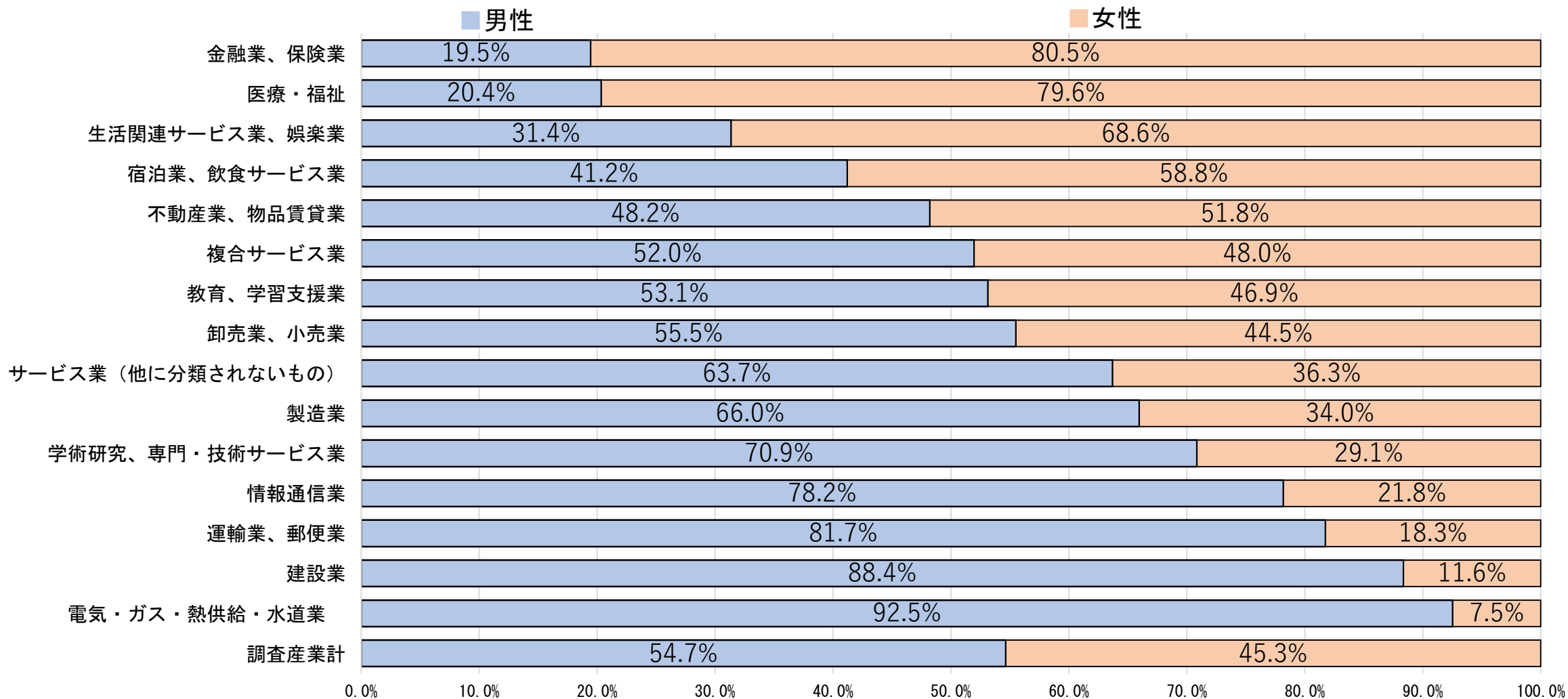
福井県では、全国と比べると製造業に従事している女性の割合が多くなっています。



6 産業別の女性比率

女性労働者の割合は金融業・保険業が最も高く、その次に医療・福祉業、生活関連サービス業、娯楽業と続いています。

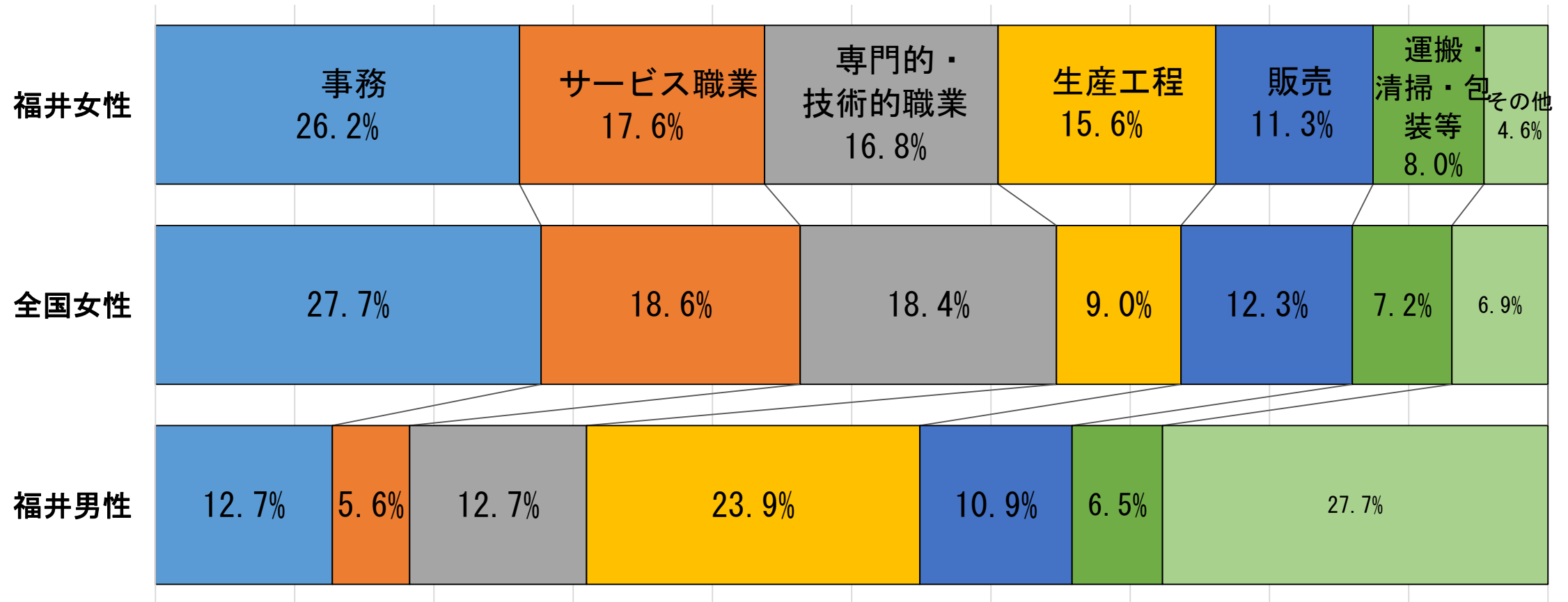
常用労働者数の男女別割合（事業所規模5人以上）



資料出所：福井県「毎月勤労統計調査年報」（令和元年）

7 女性雇用者の職業別構成

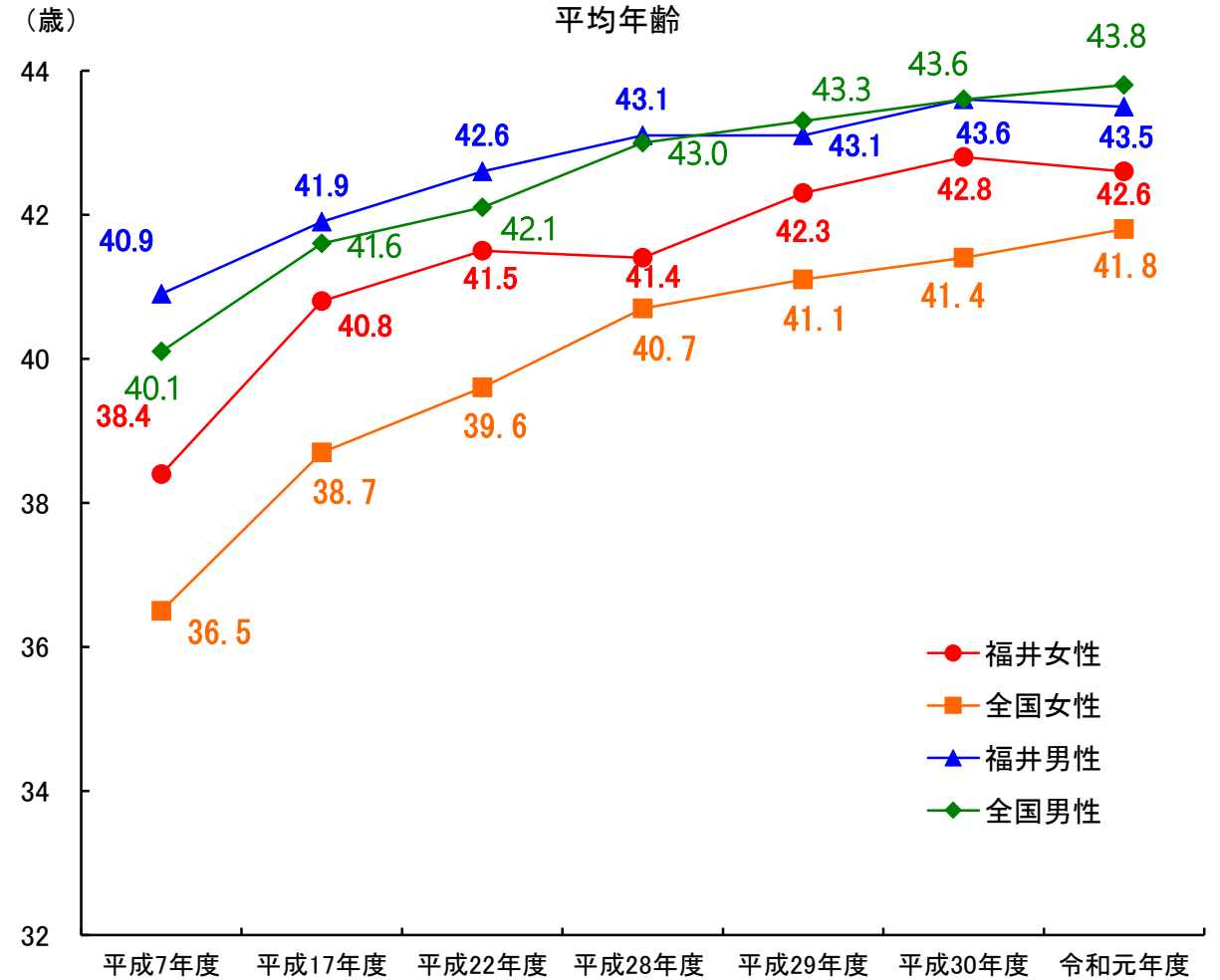
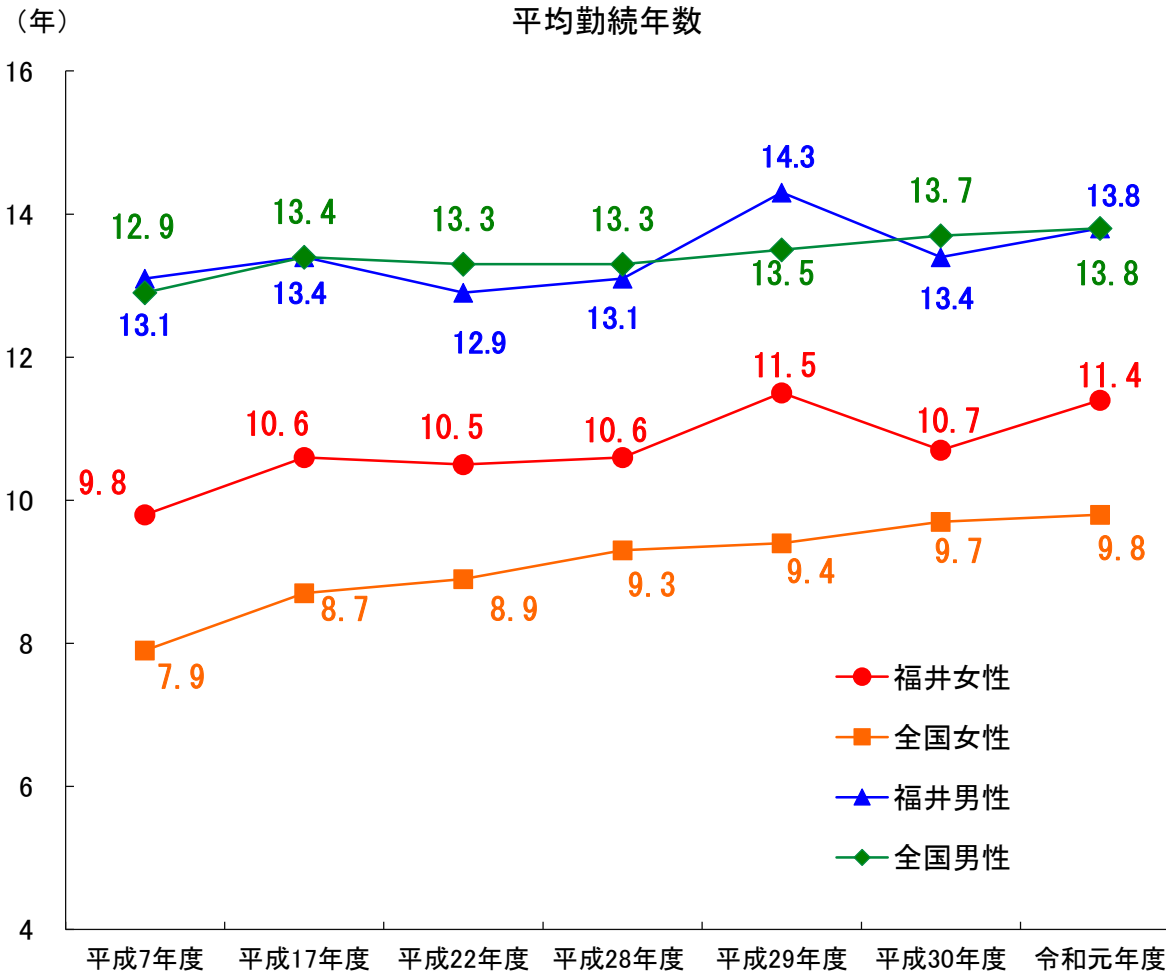
福井県の女性雇用者が最も多く就いている職業は事務従事者で、次いでサービス職業従事者、専門的・技術的職業従事者、生産工程従事者の順となっており、全国平均と比べて生産工程従事者の割合が高くなっています。



資料出所：総務省「就業構造基本調査」（平成29年）

8 平均勤続年数、平均年齢

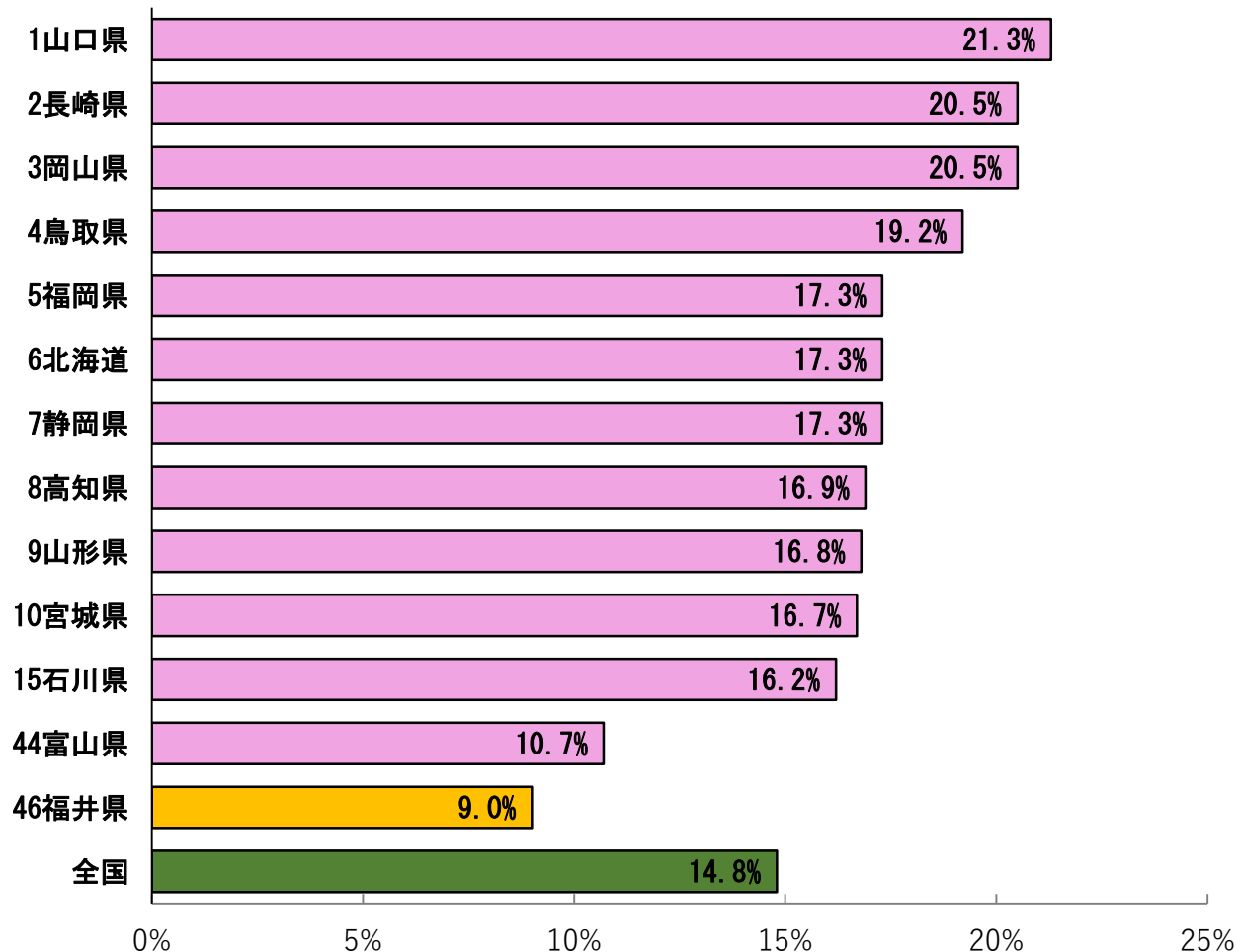
福井県の女性の平均勤続年数及び平均年齢は全国平均を上回って推移しており、男女間の差も小さい傾向にあります。



9 管理職に占める女性の割合

福井県の管理職に占める女性の割合は9.0%と全国平均を下回って全国46位となっています。

監理的職業従事者に占める女性の割合

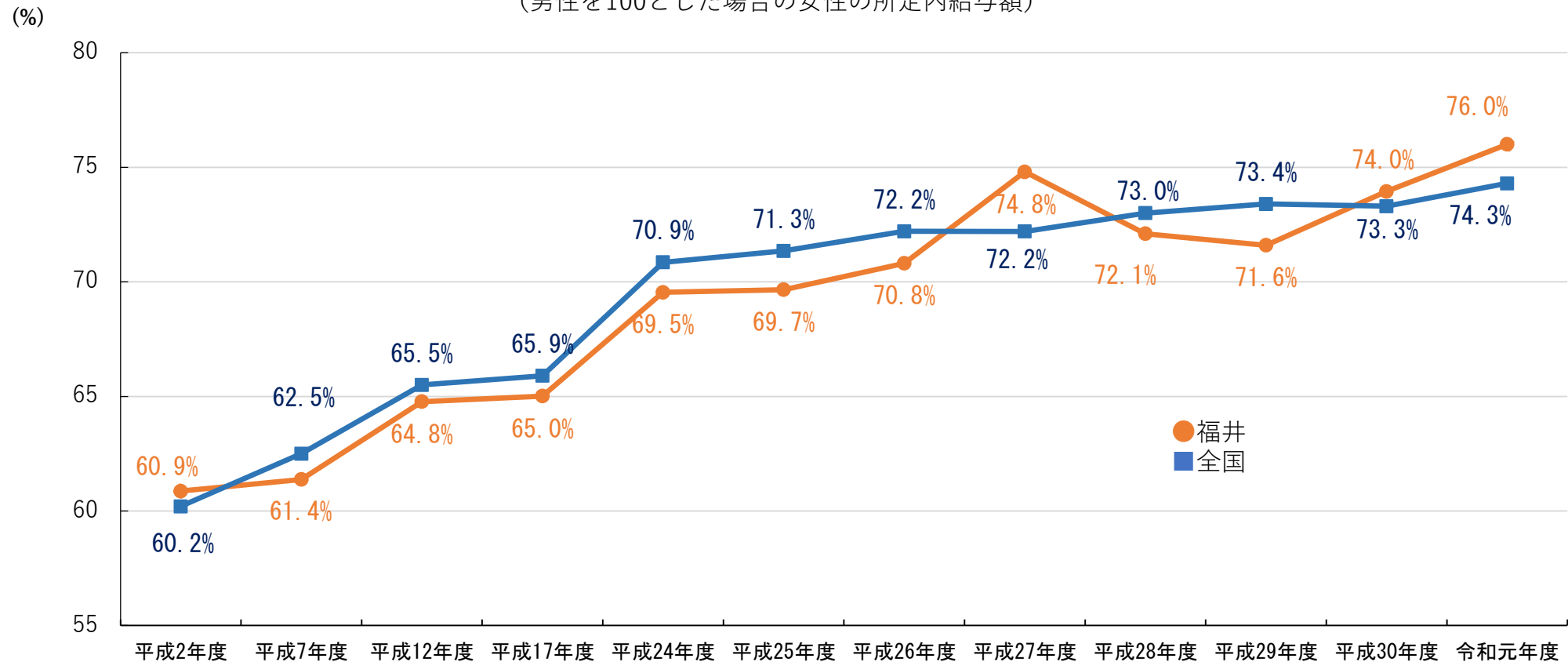


女性の割合の 高い方からの 順位	都道府県	管理職総数（人）		
		女性 （人）	女性の割合 （%）	
1	山口県	15,000	3,200	21.3
2	長崎県	15,600	3,200	20.5
3	岡山県	20,000	4,100	20.5
4	鳥取県	7,300	1,400	19.2
5	福岡県	69,400	12,000	17.3
6	北海道	54,200	9,400	17.3
7	静岡県	42,300	7,300	17.3
8	高知県	8,400	1,400	16.9
9	山形県	15,600	2,600	16.8
10	宮城県	28,200	4,700	16.7
15	石川県	13,600	2,200	16.2
44	富山県	13,100	1,400	10.7
46	福井県	8,900	800	9.0
	全国	1,528,100	226,600	14.8

10 男女間賃金格差の推移

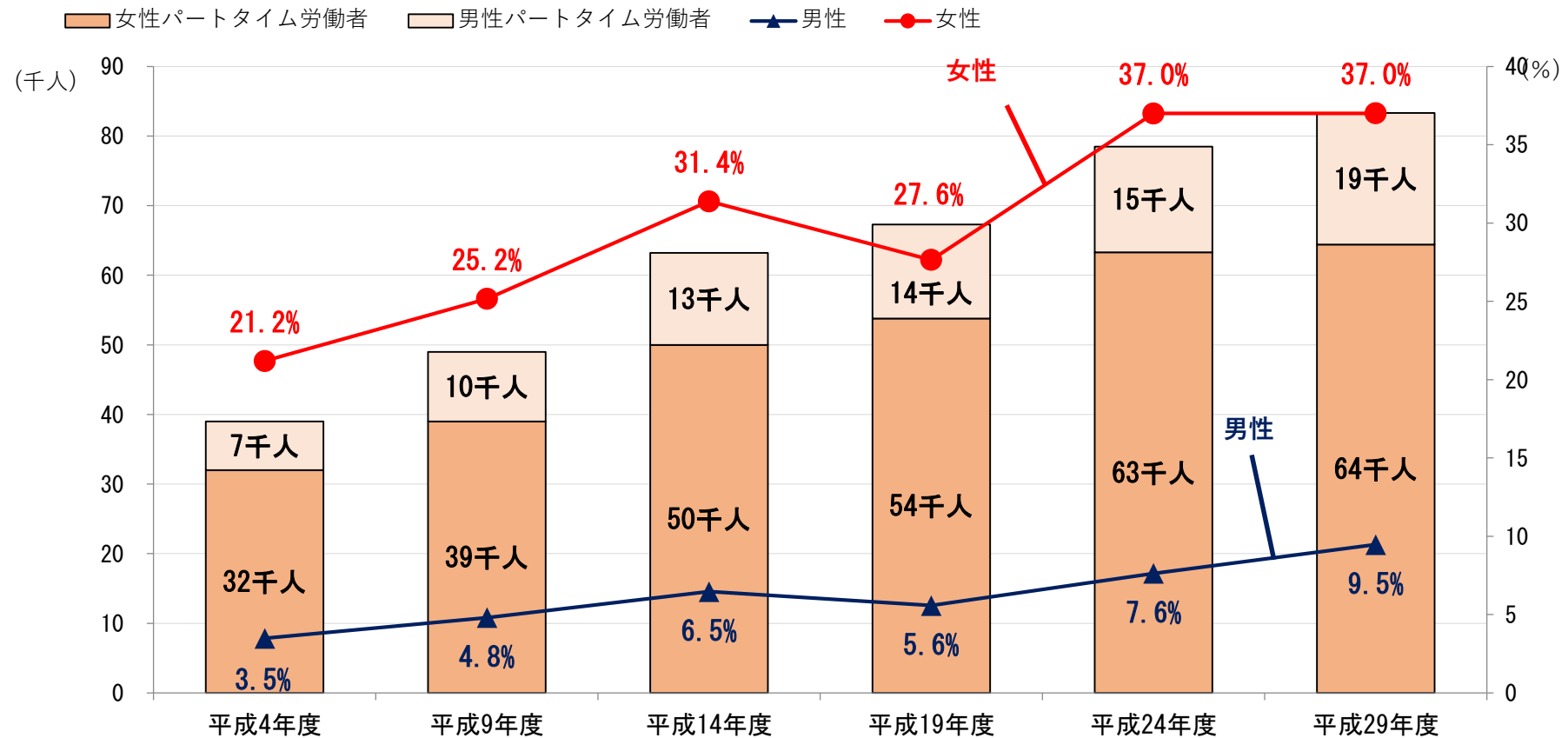
男女間賃金格差の割合は平成29年より上昇傾向にあり、男女間の賃金格差は小さくなりつつあります。また、平成30年より全国平均を上回り推移しています。

所定内給与の男女間賃金格差の推移
(男性を100とした場合の女性の所定内給与額)



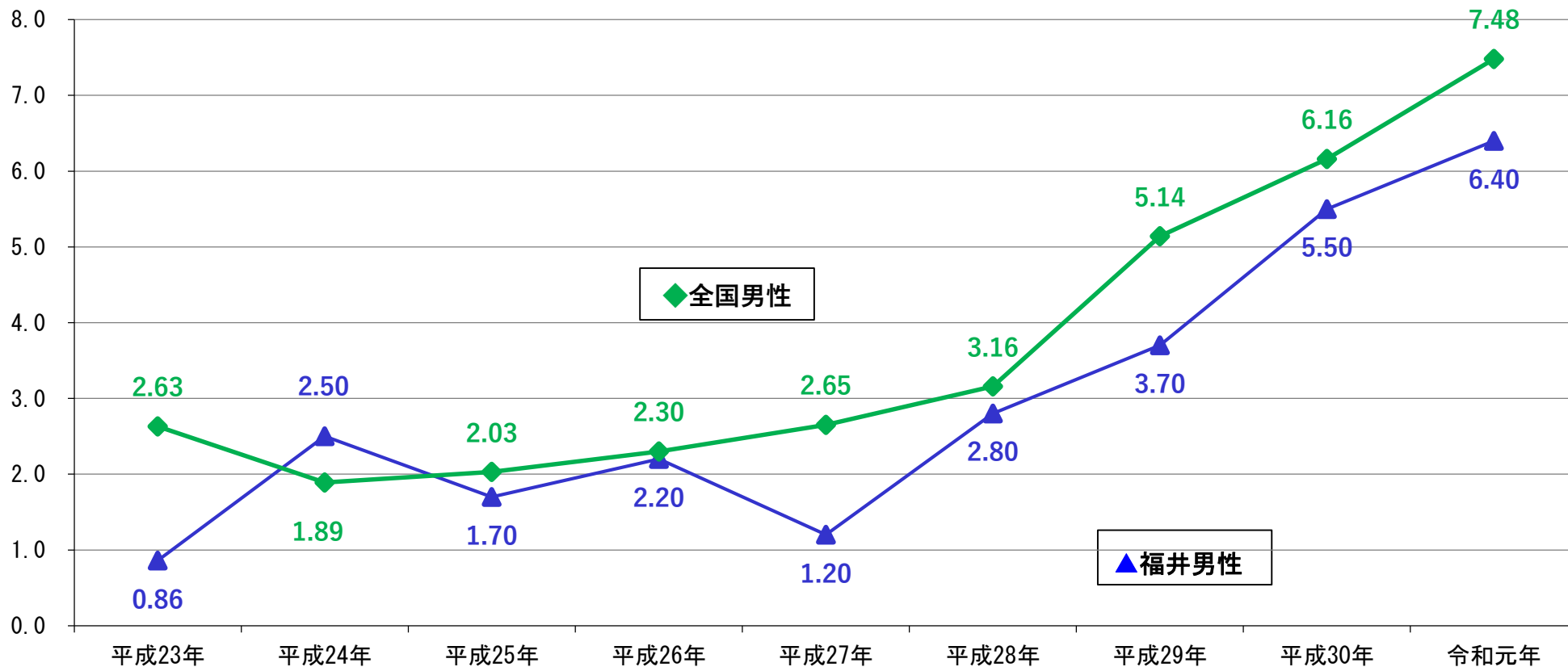
1.1 パートタイム労働者数、雇用者に占めるパート割合の推移

福井県のパートタイム労働者数は男女ともに年々増加しており、雇用者に占める割合も上昇傾向にあります。特に女性は、雇用者の約4割を占めています。



1 2 男性の育児休業取得者の割合

福井県の男性の育児休業取得者の割合は全国平均を下回るものの、年々増加傾向にあります。



資料出所：福井県「福井県勤労者就業環境基礎調査」
厚生労働省「雇用均等基本調査」